

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：MIRATZ湘南茅ヶ崎保育園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：原井 真一	定員（利用人数）：19名 （利用人数:18名）
所在地：〒253-0042 茅ヶ崎市本村1-2-14-3F 医療モール湘南	
TEL：0467-53-9732	ホームページ：https://www.miratz.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社MIRATZ	
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 6名
専門職員	園長 1名 副主任 1名
	保育士 11名 栄養士 2名
	調理員 1名
施設・設備 の概要	保育室 3室 トイレ 1ヶ所（子ども用）
	調理室 1室 事務室 1室
	園庭 無

③理念・基本方針

<p>■Vision（ありたい姿）</p> <ul style="list-style-type: none">・地域で最も貢献する組織・職員が最も輝ける組織・地域で最も愛される組織 <p>■Value（行動規範）</p> <p><見守り></p> <ul style="list-style-type: none">・一人一人の発達（年齢/個性）を理解した上で見守りすることで、子どもの主体性が育つ保育を展開する <p><手を貸す></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもが達成感を味わえるような配慮をした上で手を貸すことで、子どもの主体性が育つ保育を展開する・危険を伴う行為などには手を出して安全を確保する <p><褒め方></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもが褒められたことにより次の活動意欲や成長に繋がるような言葉かけ、関わりをする・結果だけではなく、チャレンジした過程/プロセスも褒める/大切にする <p><叱り方></p> <ul style="list-style-type: none">・他児に対して危害（暴力/言葉含む）を加えた時、危険な行為をした時は、きちんと叱る・叱る際は、理由とともに、わかりやすい言葉で冷静に伝える <p><やってはいけないこと></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもに対して感情的に怒ること

- ・子どもを交換条件で動かそうとすること（～しないと、～できない 等）
- ・子どもにレッテルを貼ること

■保育の基本理念

- ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む
- ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む
- ・みんなを親しみ愛し、太陽のように暖かい心を持った子どもを育む

■保育の基本方針

- ・安全な環境の中で、一人ひとりの育ちに寄り添い、豊かな愛情を持って応答的に接する
- ・様々な経験を通して、豊かな感性を育む
- ・家庭との連携を大切にし、子どもの成長を共に見守る

■保育目標

- 0歳：安心できる大人との受容的、応答的な関わりの中で安定して過ごす
- 1歳：優しく愛情豊かに見守られながら探索滑動を盛んにする
- 2歳：様々な事を経験する中で発見を楽しんだり、考えたりしようとする

④施設・事業所の特徴的な取組

MIRATZでは、Mission/Vision/Valueを実現するために、保育の基本理念と基本方針を軸として「保護者安心感」「子どもの養護と教育」「職員育成」「地域貢献」の醸成を図るために、日々企画・構築・実行を繰り返しています。MIRATZ湘南茅ヶ崎保育園は、ワンフロアで全体を見渡すことができる定員19名の0～2歳児クラスまでを預かる小規模で、職員全員が園児全員と保護者も把握して丁寧にきめ細やかな対応ができる家庭的で温かい雰囲気のある保育園です。

保育の質向上のために、グループ園がそれぞれ独自の部活動に力を入れており、MIRATZ湘南茅ヶ崎保育園では「クラフト部」「リズムムーブメント部」「メディア部」が活動しています。この部活動には全職員が得意な分野で力を発揮して参加しています。

「クラフト部」は、日常的に行う製作遊びとは違った特別な活動を行う「クラフトデー」を月一回開催し、例えば保育室全体に模造紙を張り巡らせてキャンバスに見立て、刷毛や筆といった道具だけでなく手足も使って、子どもたちが思いのままに描き表現できるようにしたり、色とりどりの冷たい片栗粉ゼリーで粘土のように感触遊びを楽しみながら、温度変化とともに個体から液体状へ変わる様子や、水と合わさったときの色の混ざりなどを経験したりといった、目や指先を使いながら五感に訴えかけて脳を刺激する活動を行っています。ここで行った活動は次の月から日々の保育に取り入れられていきます。

「リズムムーブメント部」は音と体を使った運動遊びを担当しており、ビートやリズムやメロディーに合わせて例えば動物の真似を表現したり、ウクレレやバイオリンやピアノの音色の心地よさを感じたり、音の高低や大小や速度などの違いを耳で聞き、体で感じながら生活に必要なテンポを感覚的に身に付けていけるよう促しています。

このような部活動で行ったことは、日々の保育の中でも再現できるように環境構成を行い、子どもたちの「やりたい」という意欲に応えられるようにしています。

部活動に加えて毎日朝の会や帰りの会などを行う設定保育では、大人と子どもが共主体で遊び合い、自由遊びでは子どもが主体的に自ら好きな遊びを選んで遊べるようなコーナーを用意するなど、多様な保育の形を日々進化させています。

ビルの3階といった立地で園庭はありませんが、その分、戸外活動の時間はたっぷり取るようにしています。近隣の公園には季節を感じられるような草花や植物が多く、虫などもたくさん住んでいるので、環境に触れながら自然物を使った遊びや観察で知識欲を刺激して感性を磨いています。また、運動発達こそが乳幼児期の脳育てに最も重要であると捉え、人間の基本的な36種類の動きも意識しながら、体の色々な部位を使い、様々な動きを取り入れて遊べるように環境を整えて見守っています。

80%の脳が出来上がるといわれる3歳児までの大切な時期を、人生の土台形成期と捉え、今後の学びや生活がスムーズに進むよう、自己肯定感や意欲と言った非認知能力及び感覚統合と身体機能の向上に重点を置いて保育に取り組んでいます。

上記の部活動や日々の保育内容を「メディア部」がメール配信やドキュメンテーションの掲示とファイリング、Facebookでの公開、YouTube動画配信といったツールを駆使して保護者の方々へ知らせることで、園の保育方針や活動内容への理解が高まり、園と家庭が一体となった子育てへとつながっていくよう努力しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月19日（契約日） ～ 令和5年4月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)独自の取組により、保育内容の充実を図っています

保育内容の向上を図るために、グループ園がそれぞれ独自の部活動に力をいれており、湘南茅ヶ崎保育園では「クラフト部」「リズムムーブメント部」「メディア部」が活動しています。この部活には全職員が得意な分野で力を発揮しています。「クラフト部」では「クラフトデー」を開催し、子ども達が思いのまま、道具ではなく手足を使って描いて表現したり、「リズムムーブメント部」では音と体を使った運動遊び、「メディア部」はドキュメンテーションや動画などを配信し、園と家庭が一体となった子育てへとつながるよう取り組んでいます。

2)「食」に関するさまざまな取組を行っています

「食」に関する豊かな経験ができるよう、年間食育活動計画を作成し保育計画の中に位置付けています。豊かな食の経験を通して食への興味を持つと共に、食べることを楽しんだり、喜んだり、嬉しさを感じることができるように取り組んでいます。子ども一人ひとりの成長に合わせ、完食できるよう量や大きさを調整し、意欲的に食事ができています。行事食や郷土料理などを提供し、季節を感じたり、様々な食文化に触れる機会を多く作っています。

3)各リーダーを中心に、園全体のチーム力向上を図っています

園では「保育力向上リーダー」「地域貢献リーダー」を置くことで、職員が主体的に園運営に関わり、責任感と当事者意識を持ち、園全体のチーム力と保育の質の向上につなげています。保育力向上リーダーは主任と連携し、日々の保育の様子や指導計画、日誌類を確認し、保育の質の向上に向けた指導を行っています。正規職員全員が今後の園の保育の方向性や課題を検討し、改善に向けて取り組んでいます。また法人は地域貢献に力を入れており、地域貢献リーダーは「地域貢献年間計画予定表」を立案し、全職員がチーム力を発揮して地域の子育て支援に取り組んでいます。

4)マニュアル類の整備が期待されます

実習生の研修、育成に関する基本姿勢や、ボランティア受け入れ、地域の学校教育な

どへの協力について基本姿勢を明示したマニュアルの整備が期待されます。また子どものプライバシー保護に関するマニュアルの整備と再考が望まれます。

5) 数値目標や具体的な成果を設定した中期計画の策定が期待されます
中期事業計画は保育の力の向上、保護者との連携の拡充、地域貢献活動の計画的な実施と定着化、安全に対する取組の強化の4点を掲げ、具体的な内容となっていますが、数値目標や具体的な成果等が設定されていません。項目のそれぞれに数値目標や具体的な成果を設定し、実施状況の評価を行えるようにすることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審させていただいたことで職員全員で自分たちが日ごろ行っている保育を振り返る良い機会となりました。

園長と主任の他に、保育力向上リーダーと地域貢献リーダーを置き、各リーダーを中心として部活動・食育・地域貢献活動に全職員が参加して、子どもたちの豊かな育ちのためと思い取り組んでおりますので、このように外部から良い評価をいただいたことを大変うれしく感じています。

また、運営面での課題も具体的にご指摘いただいたことで、次年度以降に改善する重点項目が分かり大変ありがたく思っております。

丁寧に取り組みを聞き取りして下さったことに感謝申し上げます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり